

中央公民館改築整備基本計画づくり 第2回ワークショップ

日時：令和2年10月3日 10:00～12:00

場所：中央公民館別館3階 大研修室

次 第

1. あいさつ
2. 前回のふりかえり（事務局）
 - ・意見まとめ、アンケート、他地区事例の説明
3. ワークショップ
 - ・進め方の説明（事務局）
 - ・各班でのワークショップ（改めて自己紹介／役割分担／意見交換）
 - ・各班の意見をまとめて発表
4. その他（次回日程、ふりかえりシートの提出）

全体スケジュール ～ いつ、何について話し合うのか ～

◆第1回ワークショップ：8/22（土）

- ・自己紹介、意見発表

◆第2回ワークショップ：10/3（土）：今回

- ・各班で役割を決めていただきます
- ・設定したテーマを中心に意見交換をお願いします

◆第3回ワークショップ：11月下旬ころ

- ・第2回ワークショップの結果を踏まえて、部屋・機能案（案）の提示
- ・実際の使い方や運営・管理をイメージして意見交換

◆第4回ワークショップ：R3.1月中旬ころ

- ・第3回ワークショップの結果を踏まえて、基本計画（案）の提示
- ・基本計画（案）を、より良く活用していくための意見交換

◆第5回ワークショップ：R3.3月上旬ころ

- ・基本計画（最終案）、イメージ図について説明
- ・今後の課題や取り組みについて意見交換

※ 新型コロナウイルス感染拡大状況により、開催形式を変更する可能性があります。

※ スケジュールや内容は、意見交換の進み方等に応じて適宜、見直していきます。

開催日時:令和2年8月22日(土) 10:00~12:00

中央公民館改築整備基本計画づくり 第1回ワークショップ 意見まとめ

1. 現状について(その1)

意見の区分	意見の概要
①山・自然に恵まれている	<ul style="list-style-type: none"> ・一番良いのは山が見える。自然に囲まれている。 ・山や川で遊べるのは自慢できるまちである。 ・環境の良い場所。 ・買い物に不便な町だが、緑や山々の風景が失われるような大型開発はやめて欲しい。
②文化的な背景がある	<ul style="list-style-type: none"> ・かつて芸術家村があったなど、文化的、アーティスティックな背景もある。
③子育てに適した環境がある	<ul style="list-style-type: none"> ・自然豊かで便利な場所として、子育てする時に来た。 ・子育て世代が移住してくる点は良い。 ・子育てしやすい環境にある。 ・子育てしやすい場所として町を選んでいただいております、その支援は重要だと思う。
④まちが変わってきている	<ul style="list-style-type: none"> ・自然が減り、住宅だけのベッタウンになってしまうのは悲しい。 ・田んぼが減っている。 ・本屋が無くなって、お金がないと行く場所がない。 ・建物が老朽化している。
⑤まちに居場所がない	<ul style="list-style-type: none"> ・まちに居場所となる場所がない。 ・イオンモール、ショッピングセンターに人が集まっているが、人と交流する場がない。 ・まちなかで人と交流する機会がない。 ・遊ぶ場所がなく、気軽に立ち寄れる場所がない。 ・山は行くが、行く場所がない。 ・発表、自己実現の場がない。
⑥現在の利用について	<ul style="list-style-type: none"> ・会議等で公民館を利用している。 ・退職してから利用するようになった。 ・長寿苑でビリヤード週数回、図書館も利用している。 ・3市町村で持ち回りの研修会もしている。 ・趣味で社交ダンスしている。 ・働いている間は来なかったが、退職して活用させていただいている。
⑦利用が偏っている	<ul style="list-style-type: none"> ・貸室が中心になってしまっている。 ・公民館を利用する人はごく一部だと思う。 ・年配の方が集うイメージがある。
⑧利用されない理由がある	<ul style="list-style-type: none"> ・公民館を使う機会がない。 ・夜間の閉館時間が早くて利用しづらい。 ・若い人たちが昼間働いて、夕方どう使うのか。

1. 現状について(その2)

意見の区分	意見の概要
⑨大ホールが使えない	<ul style="list-style-type: none"> ・活動拠点が公民館だが、使えないと活動が困難になる。 ・ホールがなくなった。 ・ホールとゆめほっぺが使えなくなったのが大きなショックだった。 ・サークル活動していたが、なかなか不便になり魅力がなくなった。 ・発表の場がなくなってきたのかと思う。 ・大ホールの閉鎖について、公民館サークル連合会が失速しつつある。人数もサークル数も減っている。 ・ホールで楽しく活動していたが、使えなくなり、会員が減った。
⑩図書館が不十分である	<ul style="list-style-type: none"> ・狭くて、子どもが集まりにくい。 ・蔵書数が少なく、書庫も狭くて入れられない。 ・自習室として勉強できるスペースがない。図書室を利用しているが、小さく、少ない。
⑪エレベーターが無い	<ul style="list-style-type: none"> ・エレベーターがなく、バリアフリーに対応していない。 ・ボランティア、障害者活動もしているが、階段を上がれない。 ・今は3階の大研修室で練習しているが、エレベーターがなく大変である。
⑫アクセスに課題がある	<ul style="list-style-type: none"> ・サークルに入って気づいたが、来やすい場所ではない。 ・図書館を利用したいが、行けないという意見もある。 ・アクセスが悪くて、利用しづらい。 ・若いうちは歩いて来られるが、年をとると歩いて来られなくなる。
⑬使用料への要望	<ul style="list-style-type: none"> ・使用料が高い。趣味で使うが、個人負担が少ない形で使えるようにしてもらいたい。 ・気軽に使えて、費用の負担も少なく活動できると良い。

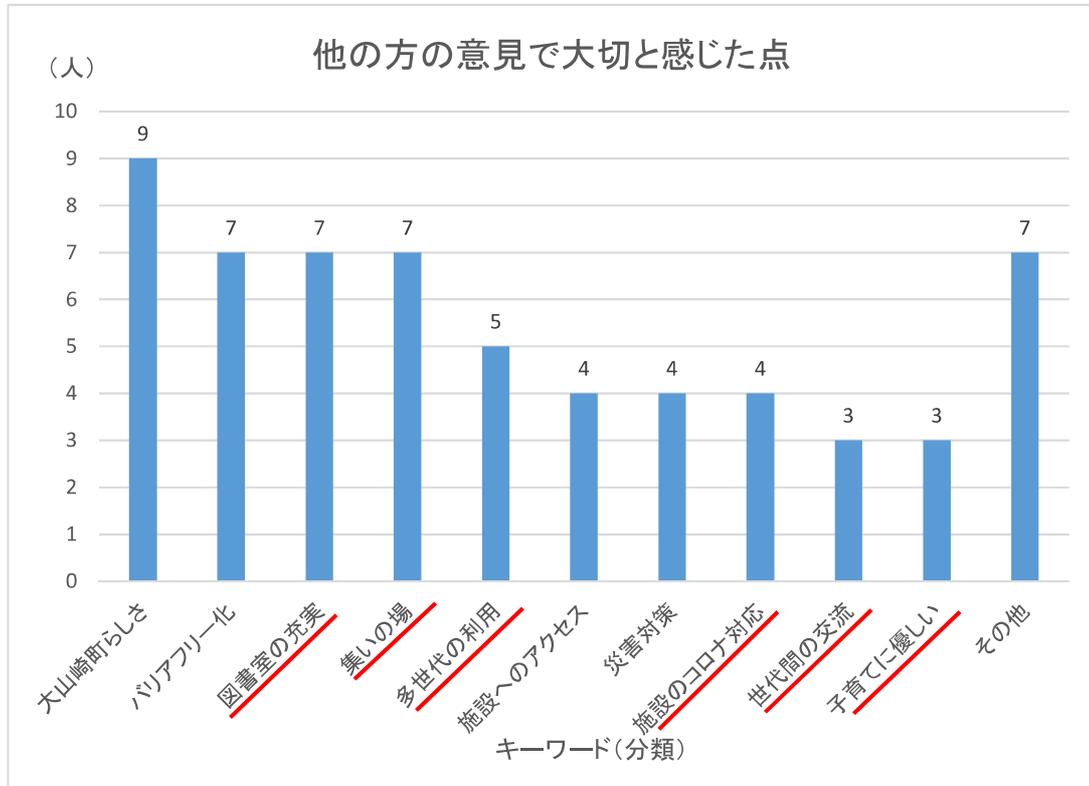
2. あたらしい中央公民館について(その1)

意見の区分	意見の概要
①まちづくりの一環として考える	<ul style="list-style-type: none"> ・地域づくり、まちづくりに活用していく。 ・シビックゾーンの性格を決める施設になる。 ・将来の人口減少や維持管理費を考える必要がある。 ・今ある施設は全て必要であるが、コンパクトな施設となるよう考える。
②大山崎町を代表する資産とする	<ul style="list-style-type: none"> ・誇りの持てる場所になるよう、町の良い場所がみえる、よそから来てみたい場所をつくる。 ・行きたくなる場所にできると良い ・周囲にも塀のない敷地で、気楽に來れておしゃれな場所だと良い。 ・とりあえずサークル活動が出來て、とりあえず形はある公民館ではなく、大山崎町の財産となるような公民館にしたい。 ・子育てをしていて、子どもたちが成長して思い出に残る場所になったら良い。 ・大山崎らしいコンパクトでもキラリと光る施設として、今後の町の見本となる施設として欲しい。 ・大山崎町を代表する場所にしてもらいたい。
③まちに居場所をつくる	<ul style="list-style-type: none"> ・景色がすごく良く、それを見ながらお昼を食べたい。 ・一人で弁当を持ってこられる場所になると良い。 ・お金がなくてもお茶と弁当を持ってこられる場所に、過ごして帰れる場になってほしい。 ・家の外の居場所として、仕事や学習の場所になると良い。 ・気楽に立ち寄れて、おしゃれな場所になると良い。 ・よそから来てみたい場所をつくりたい。 ・自分の子どもたちが将来、戻ってきて集うことを想定して、使いやすい場所になって欲しい。 ・公民館にどの世代であっても、シニアであっても何かあるかなという場所になってほしい。 ・公共のスペース、個人の自分の場所となる。 ・都会では大きなビルの1階を公開空地で公開する例もある。 ・誰でも使える場所が欲しい。
④世代を超えた出会いの場とする	<ul style="list-style-type: none"> ・広い年代に使ってもらう施設にして欲しい。 ・これまでの町の良さを活かして多世代が集まる場にしたい。 ・多世代が気兼ねなく集える場になると良い。 ・若い人は年配の知識や経験を吸収する場、高齢の方も若者とふれあう場としてもらいたい・たくさんの人が集まる場所にしたい。 ・公民館で人と出会って、楽しい生きがいとなる場所になってほしい。 ・知識とコミュニケーションが集積する場だと思う
⑤利用プログラムを重要とする	<ul style="list-style-type: none"> ・重要なのはハードではなくソフトであり、どう集えるかが重要。 ・ほとんど年配の方の利用であり、どう使うかの企画を立てて欲しい。 ・先に予算を決めるのではなく、理想を掲げてそこに向かいたい。 ・主事を置いて職員が常駐する例も、常駐しない例もある。

2. あたらしい中央公民館について(その2)

意見の区分	意見の概要
⑥コロナ禍でも利用できる公民館とする	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍だけ集える、コロナ禍だから集える空間として、魅力と注目を集めて欲しい。 公民館を中心に、ウィズコロナでも集えて、魅力的な場所、財産になる公民館にしたい。 ・3密を徹底し、コロナ禍だから集える空間にしてもらいたい。 ・3密を避ける全ての構造を作っていく必要がある。 ・コロナで活動有無は様々。
⑦バリアフリー・ユニバーサルデザインとする	<ul style="list-style-type: none"> ・建物を変えるなら、バリアフリーを徹底してもらいたい。 ・エレベーターを設置し、バリアフリーにし、避難した時も安心できる場所になってほしい。役場も近い。 ・赤ちゃんからお年寄り、身体障害者まで使える施設にしてもらいたい。 ・ジェネレーションフリー、ジェンダーフリー(おむつ変えを男性トイレでできない)、バリアフリー(エレベータの設置)が大事である。
⑧自由に使える空間を設ける	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが自由に利用できるスペースが欲しい。 ・妙喜庵のように仕切りが無い空間が重要である。
⑨ホールを復活させる	<ul style="list-style-type: none"> ・大山崎ではホールがないので、体育館でしている。大会と被ると中学校を使わず、長岡京で借りた。ホールは必要である。 ・一日も早く公民館を使えるような状態にしてもらいたい。
⑩図書館機能を充実させる	<ul style="list-style-type: none"> ・多くの住民が集まる広場として、図書館は有意義な場所だと思う。 ・多くの住民が集まる場所になって欲しい。 ・本に出合える機会を作ってもらいたい。
⑪新たな機能を検討する	<ul style="list-style-type: none"> ・防音室、喫茶・飲食店、子育て支援室、高齢者の健康増進施設が欲しい。
⑫災害時のことを考える	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時に安心して避難できる公民館にして欲しい。 ・災害に備えるのは大事だと痛感した。 ・災害に強いまちにしたい。 ・当時避難した時、小学校に図書室があり子どもたちが安心して遊べた。 ・近年の災害の状況から、災害に強いまちにしたい。
⑬世代を超えて知恵を出し合う	<ul style="list-style-type: none"> ・若い方の意見が聞けるかなと思って、楽しみに参加した。 ・ワークショップに若い方が来ていて、驚き喜んだ。
⑭参考となる事例	<ul style="list-style-type: none"> ・島本町のふれあいセンターが参考になる。 ・滋賀の草津の図書館はすごくおしゃれで、外で食事もでき売店もある。 ・大山崎山荘のように、建物単体ではない魅力が欲しい。 ・紫波町といえばオガール広場、伊万里市といえば伊万里市民図書館というような施設にできると良い。 ・公民館がなくなりコミュニティセンターになる場所もある。

大山崎町中央公民館改築基本計画
第1回ワークショップふりかえりシート(集計)



キーワード	集計
大山崎町らしさ	9
バリアフリー化	7
図書室の充実	7
集いの場	7
多世代の利用	5
施設へのアクセス	4
災害対策	4
施設のコロナ対応	4
世代間の交流	3
子育てに優しい	3
その他	7

大山崎町中央公民館改築基本計画 第1回ワークショップふりかえりシート(回答一覧)

大切だと感じた点	中央公民館のあり方、施設の活用に向けたアイデア
<p>新施設へのアクセス バリアフリー、男子トイレにベビーベットを設置する等、基本機能の充実 避難場所としての機能</p>	<p>役場も含めて連結する事も考える 府道をまたぐ方法が必要 駐車場の充実(水没する部分は駐車場)</p>
<p>円明寺団地に住んでいる者には交通が不便(同意見) 使用料が高い、安くして欲しい 3密を避ける構造 エレベーター、バリアフリー 災害に対する町づくり 他世代交流施設</p>	<p>中高生の集える場所 他地域の方とも交流できる広いホールの復活を希望する 中高生が気軽に勉強できる自習室の設置 二山地域の方も気軽に行ける場所 図書館の充実を希望</p>
<p>子育てに住みやすい町にしてほしい 公民館の図書室の件</p>	<p>使用しやすい公民館にしたい 一日も早く使用出来る様、お願いしたい</p>
<p>多世代に渡り、利用し易い、集い易い場所であること 公民館に憩いを求めているように感じた</p>	<p>町民が安心して交流、利用できる施設であって欲しい 特に、子育て世代、高齢世代、バリアフリーな物であって欲しい</p>
<p>赤ちゃんからお年寄り、身障者まで使えるバリアフリー化(含む若者世代) 若い人の参加のワークショップ評価できる 3階構造、一つの建物か、二つの建物にするか(二つの場合の連携)、敷地、容積率、建物面積</p>	<p>バリアフリー:だれでも気軽に使える施設 価格を下げる(現在、冷暖房費高めすぎる) 3密を避ける構造(全ての部屋に新しい公民館追及したい) 予算はどれぐらいか?(国・府からの援助?) 議会での論中状況:一度否決された 改築の範囲とその予算は? 大ホール閉鎖(総括要)→大研修室へ(公民館サークル連絡協議会減少) 阪急西山天王山の影響→横林のマンション増</p>
<p>都市開発をして「便利」にしてほしい訳ではない(町の魅力文化を適切に残したい) 多世代のサードプレイスになる場所をつくりたい(今は居場所がない) 図書館施設の充実(円明寺ヶ丘団地等からもアクセスしやすい等配慮も必要) まちとしての姿勢があらわれる施設になるので、誇りを持てる場所にしたい バリアフリーが整っていない 団地から等高齢者の移動が困難 コロナ対応→クリアしたい 災害対策をしっかりしたい、どの世代も安心できる場所に</p>	<p>図書室を、図書館とし、それを中心とした施設づくりをする ・子供～高齢者が集える、様々な人が理由なく存在できる居場所となる ・山荘美術館＝民芸、待庵＝お茶、聴竹居＝建築、天王山＝歴史・自然など、まちの魅力、文化資産を活かした蔵書や学習支援を行う ・「学ぶ文化を育てる街」とする、「子育て支援」というより、「人づくり」を意識した場所をつくる 京都の街中は観光地化してしまい、商業のまちに感じられる、大山崎はそのようにならず「京都で一番文化度の高い町」として、ブランディングしていきたい 移動図書館ひまわり号という各地をまわる図書館(車)が日野市に1960年代ごろからある。低予算で大山崎町でも実現できそうに思う。参考に一読いただきたい『移動図書館ひまわり号 前川恒雄』</p>

大山崎町中央公民館改築基本計画 第1回ワークショップふりかえりシート(回答一覧)

大切だと感じた点	中央公民館のあり方、施設の活用に向けたアイデア
<p>参加者のほとんどが熱い思いをもって参加されていることが伝わり、とても刺激を受けた。</p> <p>多くの方が「居場所・サードプレイスとしての公共施設」「人々をつながり合える公共施設」というイメージをもっており、この2つを出発点にしてどこまで「町の財産になるような施設」「町の魅力になるような施設」「町の誇り・アイデンティティになるような場」に発展させられるかがポイントと思いました。</p> <p>また、そのために図書室の位置づけが重要だと感じました。</p>	<p>下記、長文ですがこれからの公民館を考えるうえでのポイントを私なりにまとめました。</p> <p>1) 現在(未来)の大山崎町の課題から出発し、それを解決する施設にする</p> <p>どのような施設をつくるのか考えるにあたり、町の課題解決のための施設であることが重要だと思います。</p> <p>課題として、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(とくに円団には)ベッドタウンとしての機能がなく、居場所・憩い・娯楽の場がない ・移住者がつながり合える場がない ・一山、二山住民に物理的・心理的距離がある ・公務員削減で行政サービスが落ち込んでいる ・財政力が弱い <p>などが思い浮かびます。これらを解消するために</p> <ul style="list-style-type: none"> ・気軽に訪れ、くつろげ、楽しめる場をつくる ・「行政サービスを補完する町民の自治力」を涵養する場をつくる <p>ことができる施設になることが理想ではないかと思います。</p> <p>2) ハードとソフトを両輪で考える</p> <p>1)のような目的を達成しようとすれば、「どんな建物をつくるのか」というハード面だけでなく、運営面こそが重要になってきます。</p> <p>「移住してきたばかりで友だちのいない子育て中の保護者が、読み聞かせ会で友だちを作る」</p> <p>「リタイヤして毎日図書館に通う男性が、たまたま案内をみて料理サークルに参加する」</p> <p>「図書館やゆめほっぺにくる子育て世代にむけて、高齢者グループが昔あそびのイベントを開催する」</p> <p>「コワーキングスペースとして公民館を利用する20代が、同じ世代の利用者と知り合いになる」</p> <p>「公民館スタッフが、ボランティア団体を立ち上げたいと考えている女性の相談にのり、同様の考えをもつ町民との橋渡しをする」</p> <p>「公民館が、まちづくりや市民活動についての講演会・勉強会を開催する」</p> <p>など、図書館利用などで立ち寄る人たちがさまざまな市民活動に出会い、参加し、マッチングされる場になるような「仕掛け」が必要になると思います。こうした運営を前提として、ハードを考えることが大切かなと思います。</p> <p>3) 町民に「オーナー」としての意識をもたせる工夫</p> <p>「町の誇りになるような施設」にするにあたり、「この施設のオーナーは私だ」という意識を町民にもってもらおう工夫があればと思います。</p> <p>そのためにも、計画策定の段階でできる限り情報を公開し、たくさんの町民を巻き込む必要があると思います。</p> <p>今、公民館建て替えに関心がない町民も、形が見えてくれば賛否いろいろな意見を言ってきます。</p> <p>できるだけ早い段階で関心を持ってもらい、「なぜこんな施設にしたいのか」というストーリーを共有することが、今後の施設に魂を吹き込めるかどうかを左右するのではないかと思います。</p> <p>例えば、ワークショップメンバーで「ワークショップニュース」を作成し、広報と一緒に配布したり、ワークショップとは別に「私たちの公民館の未来」と題して住民向けにシンポジウムを開くなど(これもワークショップ参加者にさせれば良いと思います)、町民を巻き込む努力が必要だと思います。</p>

大山崎町中央公民館改築基本計画 第1回ワークショップふりかえりシート(回答一覧)

大切だと感じた点	中央公民館のあり方、施設の活用に向けたアイデア
	<p>4) 具体的なアイデアなど</p> <ul style="list-style-type: none"> ・wifiは必須(小中高生はwifiがあるだけで訪れてくる) ・自習室の設置(団地は自室がない子どももいると思う) ・コワーキングスペース(とくにコロナ禍で在宅勤務者が増える傾向ある。自宅以外の作業場を求める人増えるのでは) ・ボードゲーム、卓球台、ビリヤード台など(学童に通っていない子どもの放課後の居場所として。また、高齢者も楽しめるゲーム) ・レンタルショーケース(町民がつくった手作りの小物などを販売できるレンタルスペース。起業支援などの一環でやるのも面白いかも) ・図書室は必須(本を借りたら返しにくるので、そのリズムで来館者が一定確保できる) ・フロアなどのオープンスペースと貸し部屋を完全に区切らず、それぞれの気配を感じられる工夫をする(すりガラスなど) ・静寂のスペースと活動のスペースを完全に区切らず、板張りや絨毯の違いなどで緩やかに区切る ・フリーに使えるミーティングスペースを作る(5人くらい座れる椅子とホワイトボードがある。オープンスペースに設置し、だれでも使える) ・喫茶スペース(簡単な軽食もでる。公民館界限には喫茶店すらない)
<ul style="list-style-type: none"> ・多世代交流、たくさんの方が集える場所にしたい。 ・サードプレイスとしての公民館、どの世代の人も安心して過ごせる公民館、その中心として図書館を設置したい。 ・ひとりでふらりと訪れても時間が過ごせる場所、景色が楽しめる場所、 ・子育て世代にも魅力ある公民館 ・中高生も来る公民館、情報を得られる場所としての図書館や自習室 ・緑が切り売りされて、町の魅力が失われつつある今、ただのベッドタウンにならないためにも特色のある町づくりが大切で、公民館はその町づくりの中心となるのではないか。 ・ウィズコロナ時代にも集える公民館 	<p>私は1992～2000年の8年間島本町に住んでいました。1996年に保健センター、大小の集会室、自習室、可動ステージ付ホール、図書館などの機能を持つ複合施設であるふれあいセンターができました。3人の子どもの育児に奮闘する毎日でしたが、ふれあいセンターのできる前と後とは大違いでした。それまでは休日といえどどこか町外へでかけていましたが、センターができてからは毎週のように子どもを連れて通うようになりました。子どもたちは図書館で本を借りるだけでなく、そこで行われる様々な催しに参加していました。そこは年配の方も子連れの方も中高生もそして町外からもたくさんの方が訪れ、いつも活気のあるところでした。その後大山崎に引っ越してからあまりの違いに愕然となりました。公民館は古びてさびれており、特別な行事でもなければ訪れる場所ではなく、図書館もせまく蔵書も少なく、子どもを連れてゆっくりできる場所ではありませんでした。</p> <p>ふれあいセンターのような複合施設がどんなに住民の暮らしにとってかけがえのないものであったかを身に染みて感じました。それから20年、大山崎町にもようやく改築、建て替えのチャンスが到来しました。多くの町民が利用できる活気ある施設に生まれ変わるチャンスが来たのです。多額の税金を投入して作るからにはより多くの方が利用できて、町の財産となるようなもの、町の活性化につながるようなものを作るべきではないでしょうか。そんなお金は町には無い。必要最低限のものがあればそれでいい。もっとほかのことに税金は使うべきだ。等々の意見は当然あることでしょう。しかし、魅力ある施設には人が集まります。町が活性化します。それは京都にも大阪にも利便性がある、歴史と緑にあふれる大山崎町にさらなる文化的付加価値をつけ、人口増にもつながることでしょう。</p> <p>先行投資として大いに期待できる事業となるはずで、施設の活用としては、ぜひとも図書館を含めた建て替えを行うべきと考えています。今、日本全国で図書館の建て替えラッシュが起こっているそうです。どこの自治体も図書館の老朽化と耐震問題を抱え、お金のなかでも建て替えを行っています。新しい施設は複合施設となることが多く、大きなところでは岐阜市、富山市、仙台市、近くでは守山市、町立では岩手の紫波町、和歌山の有田川町などが有名です。いずれも図書館は中心的な存在で、そこには多くの方が集まっています。図書館とは決して読書が趣味といった人の行く場所ではなく、様々なジャンルの本や雑誌、CD、DVDがあり、どんな人も楽しめる場所なのです。</p> <p>今の大山崎町図書室とはほど遠いイメージです。図書館には様々な年代や立場の人を集める潜在能力があります。魅力的な図書館があれば多くの方が自然と集まり、ゆるやかな多世代交流が存在し、施設全体を活気付け、町全体の活性化につながるのです。その中で図書館自らが様々なイベントを企画して人を呼び込み、じゃあついでに本やDVDも借りていくか、といった人も増え、そんな大人に連れられた子どもも本を借り、その子が大人になってまた子どもを連れて図書館を訪れ、といった未来につながる建物となればいいと思います。</p> <p>(そのためにはソフトも重要で、図書館運営にはぜひボランティアを募集することも重要かと思えます。)</p> <p>その他には中高生を呼び込むための自習室、防音室、工作室、料理室等特色のある部屋、WiFi、施設の運営費を稼ぐためにテナントを入れる、等は必須ではないでしょうか。</p>

大山崎町中央公民館改築基本計画 第1回ワークショップふりかえりシート(回答一覧)

大切だと感じた点	中央公民館のあり方、施設の活用に向けたアイデア
<p>図書館に言及する方が少なくない感じがしたので、「図書館」をキーワードにするのは悪くないと思った。</p>	<p>あらゆる年代の住民が集える施設であることは大事ですが、それぞれの年代が個別に集うのではなく、たとえば子供とお年寄り、社会人と学生など、異なる年代の住民が交わることができるような場所であってほしい。</p> <p>いただいた資料にもあったが、転入者の多い年代である、25歳以上から40歳未満の層に魅力的な施設を志向するのは大事だと思った。</p> <p>人生でもっとも活動的で社会の再生産を担っている彼らを引き付けることができれば、おのずと他の年代も興味を示すような気がする。</p> <p>すくなくとも私はそうだ。何かわくわくする、知的好奇心を満たすような場所があったら良いなと思う。</p> <p>②で図書館のことに触れましたが、それはあくまでツールであり、単に本を借りるだけでなく、みんなで「読む」読書会、みんなで「聞く」読み聞かせ会、みんなで「観る」原作本の映画鑑賞など、図書館という場を利用して様々な交流ができるような気がした。</p> <p>大山崎山荘美術館を設計した安藤忠雄氏や聴竹居を建てた藤井厚二氏ゆかりの建築家が設計した建物ができたら良いなと思う。</p> <p>たとえば後者の藤井氏が在籍していた、竹中工務店 (https://www.takenaka.co.jp/enviro/feature/03/) の協力を仰ぐことや同社の開発した「燃エンウッド」 (https://xtech.nikkei.com/kn/article/knp/column/20131028/637734/) という木材をふんだんに使用すれば、</p> <p>自然豊かな大山崎町にふさわしい、特徴を持った素晴らしい建物ができるような気がする。</p> <p>いや、これは気が早すぎたが、理想をあえて語れば、そんな建物ができれば町民の誇りうる財産になるのは間違いない。</p>
<p>町の財産となる施設にしたいという点は大切だと感じた。</p> <p>貸館業務が中心になってしまっているという指摘や、サークルに所属していない人は利用しづらい等の意見もあった。</p> <p>このことから、ただの貸しスペースとして機能を回復させるだけでなく、町長も望むように「たくさんの人」—特に“多世代”—が集える空間にする必要があると感じた。</p> <p>また、図書館を希望する声が若中高のどの世代からも出ていた点に驚いた。</p>	<p>学生感覚ですが、近年では「高大接続」や「入試改革」等で、記憶力で測る知識ではなく、学生の思考力が問われている。</p> <p>図書館での調べ学習は知恵、思考力の形成に重要な要素となるため、小説の貸し出しだけでなく、レファレンスサービスを備えた、図書館機能を実現したいです。</p>
<p>多世代が利用する空間づくり(バリアフリー)</p> <p>シンボル・ほこれるもの</p>	
<p>予算規模</p> <p>世代間の交流</p>	<p>税負担する人がみな満足・利用できる施設</p>
<p>町舎建替の経緯や、否決された理由を知りたい</p> <p>障害者の利用しやすさ(町全体の都市計画にも関わる)</p> <p>「子育て支援」は大切ですし、行政の得意なところだと思う、どういう子供が育てて欲しいか、というビジョンや政策がかかげられる自治体は少ない</p> <p>「おしゃれ」かどうかではなく、大山崎らしい建物にしてほしい(ハートとか天王山の戦いとかを安易に取り入れなくてほしい)</p> <p>何をしてほしいかではなく、何をしたいか</p> <p>アクセスのしやすさや建物外の環境デザイン、建物にお金をかけるより、自動運転バスにお金をかけたほうがいいのかもわからない</p>	<p>高齢者のサークル活動が盛んなので、しっかり使用料をとって、小中高生の負担を減らすことで「子育て」のまちとして強化できることが限られるので、何を優先するか(逆に何をやらないか)の判断が重要になると思う。町長の振り切った決断に期待している</p> <p>人口データが古いので最新のものを用意してほしい</p> <p>町の総合計画や町役場の建替にも関係しそうなので、空間的にも時間的にも鳥の目の情報欲しい</p>
<p>「大山崎の誇り」となる公民館</p> <p>規模よりのもキラリと光る大山崎らしい“集う場”としたい</p>	<p>風通しのよい、入りやすい、利用しやすい、空間デザインだと良いと思う</p> <p>ワークショップのやり方の様々だ。少しファシリテーターの経験もあるのでお手伝いできる</p>

大山崎町中央公民館改築基本計画 第1回ワークショップふりかえりシート(回答一覧)

大切だと感じた点	中央公民館のあり方、施設の活用に向けたアイデア
<p>複合化施設について</p> <p>施設及び敷地内の設計について、コンセプトを「癒しと出会いの空間」として以下に意見を記す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・庭のスペースがあるなら、観賞用の庭でなく、雑木樹の植えられたテラスが良いと思う。 そこにベンチがあり気軽にランチが出来るなどの空間、散歩の途中に一休みしたくなるような空間が良いと思う。 そこでは落ち葉はそのままに自然にしておき、ミミズが育つような環境が良いと思う。そこで子供たちがミミズに出会うのならうれしい。 ・施設の一階は、オープンなものとし、テラスとの行き来が自由な設計が良いと思う。 ・施設は、窓からの景色を意識したものであって欲しい。天王山を一望できる癒しの「窓」を期待する。 ・複合化施設内の図書室は、読書する椅子の位置を窓際に並べて欲しい。子どもたちの絵本スペースは充実して欲しい。 ・屋上の緑化が可能なら検討してほしい。 ・敷地内に地下水100%の水を汲む蛇口の設置を願う。地下水100%の水道はかつてこの町の魅力だった。復元すれば町民の注目の的となるだろう。 <p>追記</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長寿苑を複合化する必要性は無いと考える(長寿苑利用者として、そのように考える)が、もし複合化の対象になるのであれば、長寿苑ホール、ビリヤードの部屋、会議室、ランチのスペースなどに置いて、規模が小さくならないことを条件にしたい。 条件はそれ以上でもそれ以下でもない。 	
<p>多世代の人々と交流できた(一言のみの間でも)</p> <p>次世代の人々・社会的弱者を考える会にすべき</p> <p>文化・自然を大切に、生かす街</p> <p>街の人々が集まりやすい場(公民館)</p>	
<p>不便さを便利に…大山崎の魅力を生かしていく</p> <p>誰もが来れる…つどえる場所、気楽でおしゃれ</p>	<p>貸館の大切だが、色んな世代が来られる場所になって欲しい</p> <p>図書室ではなく、図書館を充実させることでいろんなニーズに答えられる公民館になると思う</p> <p>飲食スペース、フリースペースもあればより来やすい</p>
<p>最初に前川町長が目標にあげられた「多くの住民が集まる広場のようなものを創りたい」という言葉に共感した。 その目標に向けて構造的にはバリアフリー、ジェンダーフリー、withコロナ対策をした誰もが使いやすいもの。 誰もがふらっときてくつろぐ心地よい場所…のために図書室内には子どものスペースやゆっくり本が読めたり学習したりできる場所がある。 外にもベンチやテラスがありお弁当が広げられるような場所がある。中にはおしゃれで居心地のいいカフェスペース、共同のリビングルームのような場所。 公民館利用者のお話でホールの必要性や公民館を災害時の避難場所の拠点にと言う声も、なるほどと思い参考になる御意見ばかりだった。</p>	<p>公民館の中にレンタルワークスペース(テレワーク対応)をつくる。</p> <p>個人向けの小さなレンタルブースを作る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・給食レストラン・独り暮らしの人や子ども食堂のような役割。 ・自由に遊べるボードゲームや囲碁、将棋のセットを置いて教えたり対戦したり、住民同士で交流できるのでは。 ・中高生が放課後立ち寄れるような場所として、ギターやダンスを習ったり教えたりできる場所。

開催日時：令和2年10月3日（土） 10:00～12:00

中央公民館改築整備基本計画づくり 第2回ワークショップ 作業シート

班

司会進行役：
発表役：
議事メモ役：
タイムキーパー役：

必要な機能	第1回ワークショップ・ふりかえりシートの意見を踏まえた整理	追加する意見・具体的な内容 (追加する利用・機能、優先する内容)	みなさんが運営に参加・協力できる内容 (教える・手伝う・提供する・協力する ／人手・物・技・知恵)	目安となる大きさ・機能 (利用人数・面積・設備)
新しい機能	<ul style="list-style-type: none"> ・多世代が交流できる場所 ・天王山の景色を見ながらお昼を食べる場所 ・居心地のよいカフェスペースや共同のリビングルームのような場所 ・気軽にランチや散歩の途中に一休みしたくなる空間 ・家の外の居場所として仕事や学習の場所 ・フリーに使えるミーティングスペース ・テラスとの行き来が自由なオープンな建物 			
図書館の機能	<ul style="list-style-type: none"> ・中高生が利用できる自習室 ・レファレンスサービス（調べものサポート） ・こどもが自由に利用できるスペース ・読書会、読み聞かせ会、映画鑑賞などの交流 			
公民館の機能	<ul style="list-style-type: none"> ・発表の場としての大ホール ・コロナ禍でも集える場所 ・子育て世代にも使いやすい場所 ・レンタルワークスペース（テレワーク対応） ・放課後に中高生がギターやダンスを習ったり教えたりできる場所 ・部屋の区切りを一部ガラスにする（一体感） ・小学生の放課後の居場所 			
保健センターの機能	<ul style="list-style-type: none"> ・各種健康診断等の場所 (臨時利用中：ゆめほっぺ) 			
老人福祉センターの機能	<ul style="list-style-type: none"> ・長寿苑を複合化する必要性は無い(ご意見) (大広間・貸し室・ビリヤード・浴室) 	※改築対象に含めるか・含めないか		
その他の視点	<ul style="list-style-type: none"> ・芸術文化のまち、シンボル化、コンパクト化 ・コロナ後の利用に対応するスペース ・災害避難場所／バリアフリー（※次回以降） ・使用料（※次回以降） ・アクセス利便性（※別途） 			

第2回中央公民館改築整備基本計画 ふりかえりシート

- A. 本日提出いただける方 → お帰りの前に提出ください
B. 後日、提出いただく方 → メール、FAX、持参等で提出ください

- メール：kanzai@town.oyamazaki.lg.jp
※ 紙に手書きしたものを写真で送っても構いません
- FAX：075-957-1101
- 提出先：総務部 政策総務課 中央公民館改築整備基本計画担当

①お名前

②新しい機能として「一番、重視すべき」ことは何ですか？

③図書館の機能として「一番、重視すべき」ことは何ですか？

④公民館の機能として「一番、重視すべき」ことは何ですか？

⑤老人福祉センターは改築対象に含めた方が良いと思いますか？（1つに○）

1. 含めた方が良い 2. 含めない方が良い 3. 分からない

⑥その他 アイディア、次回の進め方など（何でも可）

ご協力、ありがとうございました。